



特定医療法人社団

# 鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス  
<http://www.hovukai.org/>

第84号

発行:2013年4月15日  
発行責任者:  
特定医療法人社団 鵬友会  
事務局長 池島 守

## 新年度を迎えて

～法人全体のレベルアップを～

医療法人社団鵬友会

常務理事 池島 守



今年例年になく早い桜の満開のニュースが流れ、いよいよ新年度がスタートしました。新年度といえば、新社会人や学校を思い出しますが、新しい環境、新しい学年を迎えてドキドキしていたあの頃が今では懐かしく思います。また、暮らしに直接関わる制度もいろいろと変わります。厚生年金で男性の支給開始年齢がこれまでの60歳から61歳に引き上げられ、今後、段階的に65歳まで引き上げられます。他には、希望者全員を65歳まで再雇用することを企業に義務付ける法律の施行、高校での英語の授業が基本的に英語で実施、車の自賠責保険料の引き上げ等々、私たちの生活環境に変化が生じてまいります。

医療・介護の分野では、2年に1度の診療報酬改定、3年に1度の介護報酬改定があり、改定ごとに一喜一憂しておりますが、昨年度は医療・介護報酬の同時改定の年でありました。今回の改定は国が「社会保障・税の一体改革」を2025年問題(注)として取り組み、医療・介護サービス提供体制を構築し、長期にわたる将来展望を拓くためのファーストステップと位置づけ、非常に重要な意味をもった改定でありました。

そんな中、昨年度を振り返ってみますと、当法人には、急性期一般病院、療養型病院、認知症専門病院、介護老人保健施設、クリニック、在宅部門、保育園などの施設がありますが、法人全体ではどうかこの改定の波に対応することができ、まずまずの結果を残すことができました。これは職員一人一人の頑張りによる結果であります。一方で介護施設では思うように収益をあげることができませんでした。これは介護報酬全体の改定率が実質マイナス0.8%となったためであり、介護部門にとっては総じて厳しい改定でありました。25年度は、しっかりと原因を究明し、何らかの解決策を講ずる必要があります。また、同時に2025年を見据えながら、各施設の方向性や体制を確立すべく、準備を進めてまいりたいと思っております。

更に医療の質の向上という観点から、昨年末に横浜ほうゆう病院が病院機能評価(注)の審査を受け取得しました。1月には湘南泉病院が2回目の審査を受け取得見込みであります。新中川病院も今後取得を検討しております。

ハード面の取り組みとしては昨年8月に、湘南泉病院でオーダーリングシステムを導入し患者様との情報の共有化や効率化を図り、より安全な医療の提供ができるようになりました。また、消化器内科や循環器内科を充実すべく、最新の内視鏡(EVIS LUCERA ELITE OLYMPUS)を導入し、MRI(3.0テスラ)の導入も検討しております。こうした取り組みにより、組織・医療・サービス、全てにおいて法人レベルの格段の向上を図りたいと思っております。

今年度も昨年以上に高齢化が進む地域のニーズに応え、地域連携を強化し、きめ細やかな医療・介護サービスを提供していく所存でございます。皆様、本年度も宜しくお願いたします。

(注) 2025年問題とは、団塊の世代800万人全員が65歳以上になるのが2015年、そして大量の後期高齢者(75歳)となるのが2025年であり、医療費など社会保障費の急増が懸念される問題。

(注) 病院機能評価とは、(財)日本病院機能評価機構が設定した評価基準に基づき、同機構が中立的・客観的な立場で、医療機関の活動を書面や実地調査を通じて総合的に評価するもの。

# 新年度スタート！～平成25年度入職式/新採用者研修～



児玉 理事長

平成25年度入職式が4月1日（月）湘南泉病院会議室において執り行われました。法人5施設から新入職者総勢23名が集まり、緊張の面持ちで新たな第一歩を踏み出しました。

まず児玉喜直 理事長が挨拶を行い、「鵬友会7施設、全て性格の異なる施設がありますが、各施設で活躍しながら、他施設と連携をとって、切磋琢磨してもらいたい。」と新入職者への期待を述べました。



池島 常務理事



永澤 顧問



福島 阿久和鳳荘事務長

続いて、池島 守 常務理事から鵬友会の組織の概要について、永澤 直美 顧問から職業倫理についての講義、後半は福島 洋平 阿久和鳳荘事務長から接遇研修を行い、式は終了しました。

一日も早く職場に慣れ、その若さとガッツで仕事に取り組まれることを願っております。

◇厚生労働省  
雇用均等・児童家庭局長賞◇

表彰

◇日本公衆衛生協会◇



右から2番目  
福島 本部係長  
(当時)



「この度、長くこの仕事に携わり、名誉ある賞をいただきました。まわりの方々の協力があるの賞だと思います。皆さまに感謝いたします。ありがとうございました。」  
【3月22日受賞】

母子家庭の母の雇用に積極的に取り組んでいる法人として、鵬友会が3月26日に厚生労働省 雇用均等・児童家庭局長賞をうけました。

ほうゆう訪問看護ステーション  
所長 広瀬 鈴子

国家試験 合格しました！

看護師	本橋 由美	(湘南泉病院)	介護福祉士	吉川 涼	(横浜ほうゆう病院)
看護師	佐伯 正巳	(湘南泉病院)	介護福祉士	秀島 徹	(横浜ほうゆう病院)
看護師	七澤 美智子	(新中川病院)	介護福祉士	佐藤 隆子	(横浜ほうゆう病院)
看護師	上野 倫子	(新中川病院)	介護福祉士	小沢 梨絵子	(阿久和鳳荘)
作業療法士	長谷川 歩美	(横浜ほうゆう病院)	介護福祉士	橋原 あかね	(阿久和鳳荘)
精神保健福祉士	増子 美沙貴	(横浜ほうゆう病院)			